

# MAITZ

**全自動** 電動裁断機 CE-43ATS

取扱説明書

保存用

このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。  
お読みになったあとは、大切に保管してください。  
この断裁機を譲渡する場合は、この取扱説明書も同時にお渡しください。

本機はヨーロッパEU安全基準  
89/392、73/23、89/336  
ISO9001/EN29001  
の承認を受けております。

## ▲ 警告 安全に御使用いただくためのお願い

1. 使用説明書をよく読んでから使いはじめてください。【図-2参照】
2. 裁断作業は必ず1人で行ってください。
3. 【電源キー】⑤は安全管理のため不使用時には必ず別の保管場所に保管してください。また安全確保のため不使用時に【電源キー】は機械につけばなしにしないでください。
4. 操作の際は【安全ガードカバー】③、【メインスイッチ】⑦、【電源キー】⑤が正しくセットしているかどうかを確認してから裁断作業をしてください。
5. 刃の交換時、または受木交換時には電源プラグをコンセントから抜いてください。
6. 機械の作動中、刃にさわったり、移動定規、紙押レバー等を動かしたりしないでください。
7. 裁断刃の取扱いに際して、刃先部を握ったり、さわったりしないよう充分ご注意ください。
8. 裁断刃の取はずし/取付に際しては必ず【裁断刃脱着用安全グリップ】2本を使用してください。
9. 【安全ガードカバー】③を分解したり、取り外したりすることは絶対にしないでください。
10. 本機は事務用紙またはそれに類する紙用の断裁機です。他の材質の裁断には適しません。

## 据えつけに際して

### 1. 機械本体関係。【図-2参照】

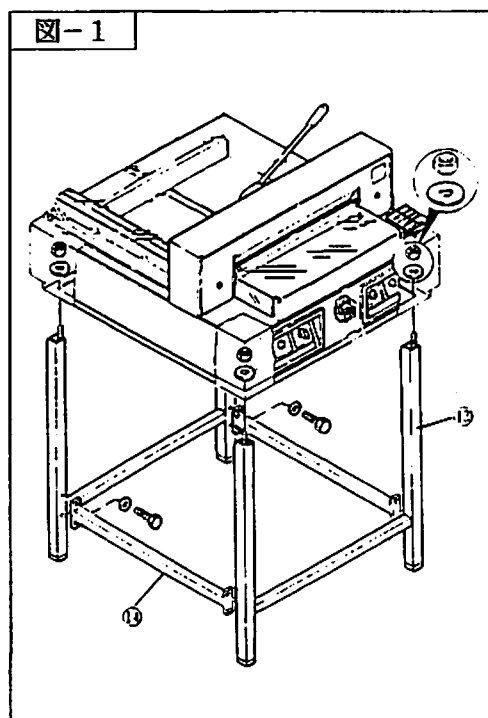
- ① 紙押レバー①のネジ部を紙押軸ネジ穴に差し込み十分に締付をして、しっかりと固定してください。

以上で本体準備完了です。

### 2. 専用台組立て方法。(別売品)【図-1参照】

- ① 先ず左右になる脚部の各々⑬につなぎ棒⑭を付属ボルト8本にワッシャーを入れ付属工具スパナ(13mm)でしっかり固定してください。
- ② 次に機械本体を注意深く脚部先端のネジ部に本体止め穴に合わせせ乗せてください。
- ③ 機械本体裏側のネジ6本を付属工具プラスドライバーを用いてはずし、裏板をとります。
- ④ ポリ袋に入っている大座金を各々1枚ずつ上記ネジ部に入れ、次にナット4個を付属工具スパナ(13mm)を用い、各々締めつけ固定してください。脚取付けが完了しましたら裏板を再取付けしてください。最後に添付の棚板をセットしてください。
- ⑤

以上で専用台組立てと機械本体の連結が完了しました。



① 紙押レバー。

簡単、確実なレバー操作方式の紙押機構です。  
正面から見て右に上げれば紙押が上がり、左に下げれば紙押が下がり、紙を確実に押さえます。

② 本体カバー。

前面2ヵ所のネジで止められています。  
裁断刃の交換、又はグリス/注油の際に取り外します。  
通常は取り外さないでください。

③ 安全ガードカバー。

安全に裁断作業ができるように配慮された頑丈な厚手の樹脂製です。

カバーが上がっている時はカットボタンを押しても裁断刃は下りない【安全機能】を備えています。  
裁断時はカバーを下げます。

※ご注意：どのような場合でもこの安全ガードカバーは取り外さないよう特にお願いいたします。

④ 裁断刃調整アジャスター。【横面より、正確に調整】

切れ残り/切れ過ぎ(刃が削れ過ぎ)の時に簡単に調整できる機能です。もしも、切れ残りが出たときは付属工具T字型マイナスドライバーで「アジャスターネジを右に回す」。

これにより刃先が今までより下がるようになる。  
反対にアジャスターネジを左に回すと刃は今までより上で止まり、下らないようになります。

ご注意：下げ過ぎは受木を痛めるばかりでなく裁断刃をも痛めますので適度に調整をしてください。

【調整巾は2mmで、アジャスターネジは約10回転します】

⑤ 電源キースイッチ。

電源キーを90°右にまわして電源キーが横の状態のときスイッチONになり、電源キーを抜く時は左にまわして電源キーが縦の状態のとき、抜いてください。

- 電源キーは安全のため不使用時には別の場所に保管してください。
- 安全のため電源キーは差し込んだま、放置しないでください。

⑥ テンキー。

裁断寸法を決めるテンキーです。  
詳しくは使用説明の項で説明してありますが、非常に簡単、正確に寸法決めが行えます。

⑦ メインスイッチ。

主電源入力スイッチです。  
操作の第一番目に行うスイッチです。  
緊急時に電源をOFFにして作動を止めるスイッチでもあります。

⑧ プロテクターボタン。

オーバーロードの時(無理がかかり過負荷状態の時)電気回路を保護する役割をしています。  
もしもオーバーロードになった時は、このボタンがとび出し、機械が止まります。  
1分位そのまま待ってからこのボタンを押せば、電源が復帰し元通りに操作できます。

⑨ 専用台。(別売品)

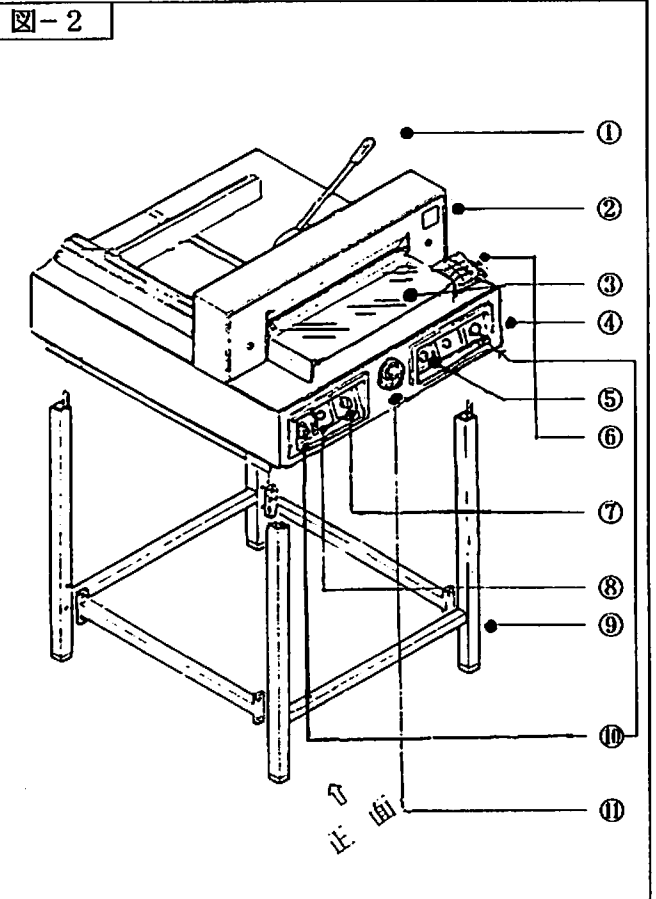
作業性がラクになる専用台です。  
お備えていただくことをお奨めいたします。

⑩ カットボタン。

左右2個のカットボタンを、両手で同時に押すと裁断を開始します。

⑪ 円形丸ツマミ。

任意の裁断寸法設定ツマミです。右方向に回すと手前に移動し、左方向に回すと奥に移動する。



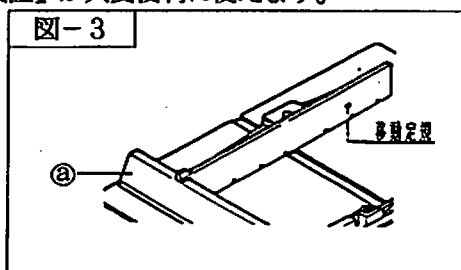
## ご使用方法

- ① メインスイッチ⑦のツマミを右に回しONにする。  
次に電源キースイッチ⑤に電源キーを入れ右に回し電源を入れる。 ●緑ランプが点灯します
- ② 安全ガードカバー③を上を開ける。
- ③ テンキーにより裁断寸法を決める。  
 1) 先ず最初にテンキー部のSTARTボタンを押し、移動定規を [38.5cm] にします。  
 2) テンキー⑥の数字を押して裁断寸法を決めます。  
 15cm 5mmに裁断したい時 = 1 5 . 5 と押してください。 窓に数字が赤字で表示されます。  
 30cm 25mmに裁断したい = 3 0 . 2 5 と押してください。窓に数字が赤字で表示されます。  
 A4判に裁断したい時 = A4 キーを押してください。 窓に数字が赤字で表示されます。  
 B5判に裁断したい時 = B5 キーを押してください。 窓に数字が赤字で表示されます。  
 3) 次にSTARTキーを移動定規が止まるまで【押し続けて】ください。 これで簡単に寸法が決まります。  
 ※ STOPボタンを押すと今までの寸法がクリアーされますのでご注意ください。

●また【光線が裁断位置を明示します。】

ある線上を切るとき、見当をつけて切るとき、この【カットライン表示装置】が大変便利に使えます。ご活用ください。

※ この場合前面の円形丸ツマミ①で操作してください。



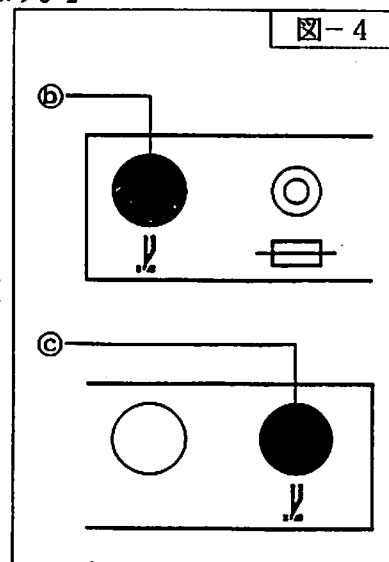
- ④ 用紙のセットと紙押レバーのセット。【図-2参照】【図-3参照】  
裁断用紙は多少にかかわらずきちんと揃え、移動定規と当枕②に正しく当たるようにセットする。次に紙押レバー①を左に強く下げ裁断用紙を完全に押さえます。【良く揃っていない用紙、移動定規と当枕にきちんと当たっていない裁断は寸法、角度共に狂います】

- ⑤ 安全ガードカバー③を下げる。  
【安全ガードカバーを下げないと電動操作ができない《安全機構》になっています。】

- ⑥ 裁断開始と裁断終了。【図-4参照】  
操作パネル両端のカットボタン⑧⑨〔同時に〕両手で押す。刃が下がり始める。モーターの回転音が止まるまで押し続け、回転音が止まったら両手をはなす。刃は自動的に元の位置の上限に戻ります。  
※両手をはなさない刃は戻りません。

● カットボタンは手をはなすと刃はどの位置からでも【自動的に元の上限位置に戻る】最も【新しい安全システム】を採用しています。

- ⑦ 裁断が完了しました。糸状押紙レバー①を上げテンキーの【E】ボタンを押すと用紙が自動的に手前に排出され、移動定規は元の寸法位置に戻って停止します。これで裁断完了です。



同じ寸法の裁断は何回でも行えます。

すべての裁断が終了したときは：

電源キーを抜いて決められた保管場所に保管してください。【安全確保のため】  
メインスイッチをOFFにして裁断機から離れてください。

## 切れないときの対応方法

トラブル内容	原因	対応
1 電源が入らない。 機械が作動しない。	① コンセントにコードの先端プラグが差し込んでいない。	コンセントに差し込む。
	② メインスイッチがONになっていない。	ONにする。
	③ 電源キースイッチが入っていない。	電源キースイッチを入れ右に回す
	④ プロテクターのボタンが飛び出ている。	ボタンを押す。
2 全体に切れ残りが出る。	① 受木の刃当り溝が深くなった。 ② 刃が下まで降りない。	1) 受木の面を変える(受木が逆側) 2) 裁断刃調整アジャスター④を少し右に回し調整する。
3 部分的に切れ残りが出る。	裁断刃が受木に平均に当たらない。	1) 切れ残りが出る部分の受木の下に官製ハガキ程度の紙を入れる。 2) 裁断刃調整アジャスター④を少し右に回し調整する。
4 受木の溝が早く痛む。	裁断刃が下がり過ぎている。	裁断刃調整アジャスター④を少しずつ左に回し調整する。
5 上記以外の切れ残り。	刃が磨耗した。	刃を研磨に出してください。 (刃は通常コピー用紙で、1,500枚又は延べ20時間の使用で研磨が必要になります。購入店に相談ください。)

## 受木の交換方法

受木は14mm角の4面体です。

今お使いの面を【180度回して溝に入れ替えれば新しい受木面】になります。  
従いまして4面を8面として使え大変経済的に使えるように設計されています。

※電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

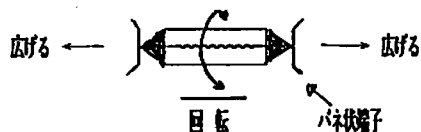
1. 本体カバー②の左下の凹形隙間から付属工具マイナスドライバーを入れ
2. ドライバーの先で受木の端を上げ、前面からとります。
3. 挿入方法は、受木を前面から溝の中に入れれば良い。

## カットライン表示装置用／電球の交換方法

※ 電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

※ 電球は熱くなっていますので十分に冷えてから交換調整してください。

1. 本体カバー②前面2箇所のネジを付属工具プラスドライバーでゆるめて、本体カバー②をはずしてください。
2. 電球を軽くつまみ、電球を押さえている左右のバネ状端子を広げるようにして電球を取り出します。
3. 逆の方法で新しい電球をセットします。



※電球のセットの仕方によってはカットライン表示が見えにくいことがあります。その場合は電球を回転させてよく見える位置で固定してください。

## 刃の交換方法

お願い：刃の取扱いには十分注意をしてください。【図-2/5/6/7参照】

準備する付属工具：【T字型マイナスドライバー】【T字型六角レンチ】【裁断刃脱着用安全グリップ/2本】(7頁)

### 刃の取り出し方法

- 1 裁断刃調整アジャスター④をT字型マイナスドライバーを使って左一杯にまわしておく。【図-2参照】
- 2 メインスイッチ⑦、電源キー⑤を入れカットボタンを押し刃を下まで下げ、片手だけカットボタンからはなし、メインスイッチ⑦をOFFにする。(そのあとで一方の手をはなします。) 電源キー⑤もOFFにする。
- 3 両端2個の【図-5参照】エキセントリックネジ⑥のミゾをT字型マイナスドライバーで[0]印に合わせておく。※同時に受木を新しい面に入れ替える。
- 4 次にメインスイッチ⑦電源キー⑤をONにする。刃は自動的に上限に戻る。メインスイッチ⑦、電源キー⑤をOFFにする。【図-2参照】 安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 5 T字型六角レンチで③④2個の刃止ネジをとり、そのネジ穴に裁断刃脱着用安全グリップ⑧(以下安全グリップと呼ぶ)2本をしっかりと固定しておく。【図-5/6参照】
- 6 残り①②③の3個の止ネジをT字型六角レンチを用いて取る。【図-5参照】
- 7 最後に2本の安全グリップを少し左に回してゆるめ、両手で安全グリップをしっかりと握り刃を下方向に丁寧に取り出す。  
これで刃の取り出しは完了です。

### 刃のセット方法

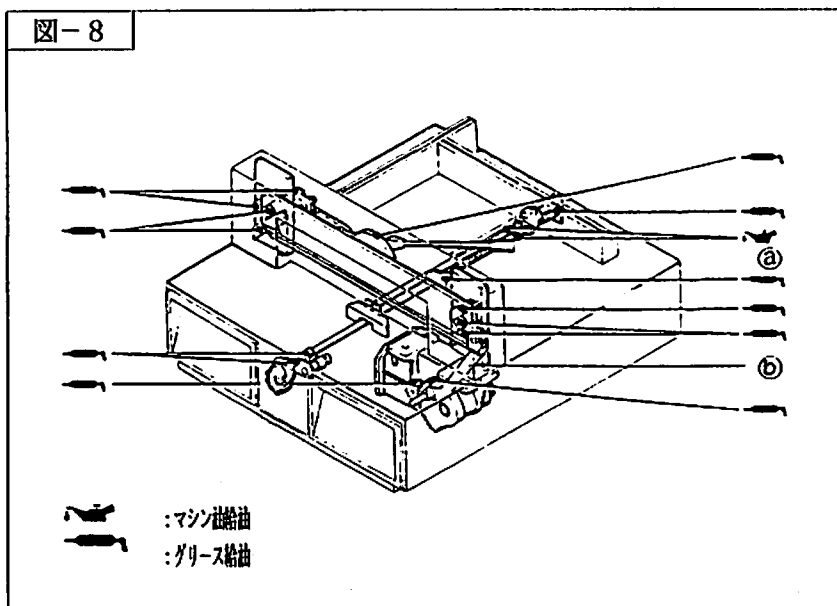
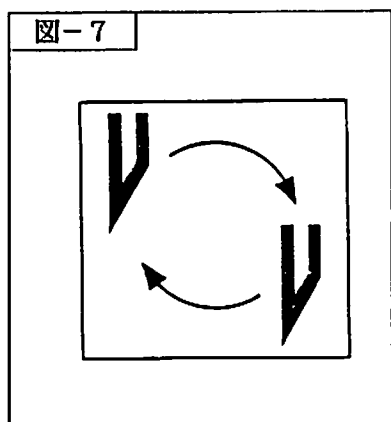
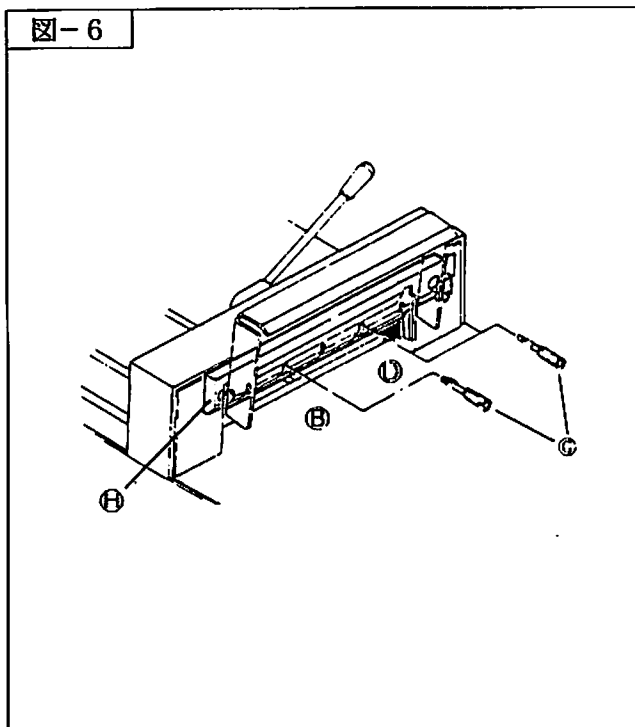
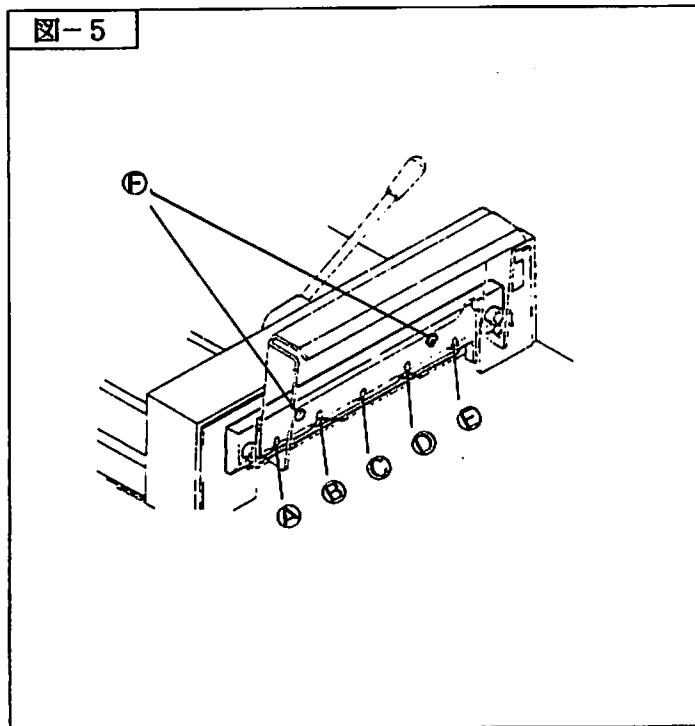
- 8 安全グリップ2本を新しい裁断刃の止穴③④にセットし刃当板⑤のU字型の穴に差し込み、上限までもっていったら、安全グリップを右に回し、しっかりと固定する。【図-5/6参照】
- 9 止穴3個①②③に刃止ネジを入れT字型六角レンチを用いてしっかりと固定する。
- 10 安全グリップをはずし③④に刃止ネジを入れT字型六角レンチを用いてしっかりと固定する。
- 11 裁断テストをする。【電源プラグを入れてください】
  - 1) 受木の面を変え新しくしておく。
  - 2) A3判の裁断用紙 1枚 を裁断する。  
もしも切れ残りが出たときは次の方法に従って調整してください。
  - 3) メインスイッチ⑦電源キー⑤を入れ刃を一番下まで下げメインスイッチ⑦をOFFにする。刃は最下点で止まっている。【2項参照】 刃は受木と平行になっていなければなりません。もしも平行でない場合は4)に、平行なら6)に進んでください。
  - 4) 5個の刃止ネジをT字型六角レンチでほんの少しゆるめ、2個のエキセントリックネジ⑥をT字型マイナスドライバーで→方向に右に回し受木に対して平行に接触するまで下げて調整し、5個の刃止ネジをしっかりと固定する。
  - 5) 裁断用紙1枚を裁断する。もしも切れ残りが出たときは次の項に進んでください
  - 6) 裁断刃調整アジャスター④をT字型マイナスドライバーを使って少しずつ右に回すと刃全体が下がる。  
【図-7参照】 切れ残りが出なくなるまで調整する。
  - 7) 次に最終裁断テストとして100枚以上の裁断用紙を裁断テストする。  
もしも切れ残りが出たときは前項 6) の裁断刃調整アジャスター④を更に少しずつ右に回し調整する。  
【図-2/7参照】 以上で刃のセットは完了です。

◎ 裁断刃の交換作業中は必ず【紙押レバー①で紙押を下げ】手指が絶対に入らないようにしておいてください。

## 給油保守点検

本機を安全に永くお使いいただくために下記の項目を御点検いただき給油等を実施してください。(図-8参照)

- 1 【図-8の㊸移動定規の駆動部】に【1週間に1度】マシン油を給油してください。
- 2 【図-8の14ヵ所】に【半年に1度】グリースを給油してください。
- 3 機械本体内部に紙片や紙埃がたまりますので最低【半年に1度】内外の掃除をしてください。
- 4 【図-8の㊹連結部】の磨耗を【1年に1度】チェックしてください。
- 5 電源コード、安全ガードカバーが完全かどうか【1年に1度】は点検してください。  
安全ガードカバーのバネに異常があった場合はバネを交換してください。

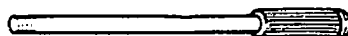


【付属品】

1) 電源キ - 2個セット  
(本文中では⑤)

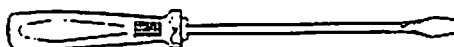


2) 紙押レバ - 1本  
(本文中では①)



【付属工具】

1) マイナスドライバー 1本



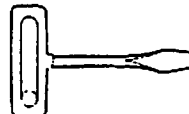
2) プラスドライバー 1本



3) T字型六角レンチ 1本



4) T字型マイナスドライバー 1本



5) (鉄断刃着脱用)安全グリップ  
(本文中では⑥)



6) スパナ - (13mm) 1本

